

**令和3年度  
「すまい職人きらりアップ体験出前授業」  
実施報告書**

**青森県住宅リフォーム推進協議会  
青森県県土整備部建築住宅課**

## 1.出前授業の目的

青森県住宅リフォーム推進協議会※1と青森県は、「青森県すまい職人きらりアップ計画」に基づき、子ども達が、住宅（すまい）ができるまでの過程を知ることや、すまいづくりに携わる職人とのふれあいをおして、職人という仕事に理解を深め、興味や関心を高めることにより、すまい職人を目指すきっかけづくりを行うことを目的とする。

※1. 住宅リフォームの関連団体等が、一体となって住宅リフォームの推進に向けた事業を展開し、県民が安心してリフォームできる環境を整備するとともに住宅リフォーム関連業界への健全な発展を図ることを目的として組織。

<会長> 川島芳正県建築士会会長      <事務局> 県建築士会

## 2.出前授業の実施概要

### 1) 実施期間

令和3年7月から12月まで

### 2) 実施校等

県内の小・中学校（7校）

### 3) 対象学年

小学校6学年～中学校3学年

### 4) 講師

県立弘前高等技術専門校 成田 一輝主査、二本柳 守技師、福土 匠技師

県立むつ高等技術専門校 春日 貴順主幹、西野 修司主査、佐藤 千亜希職業訓練指導講師

### 5) 基本プログラム

<1時間目>①すまいができる過程とすまい職人の紹介（DVD※2視聴）

②職人の仕事と魅力についての講話

<2時間目>③大工道具の使い方、木材の説明

④講師による木材加工組立の実演

⑤児童生徒による木材加工組立の体験、ベンチ制作

⑥まとめ

※2. DVD「未来を造るすまい職人たち」

平成21年度の「すまい職人きらりアップ体験モデル事業」（弘前市立第三中学校敷地に建築した休憩所（木造約3坪）について、弘前工業高校の生徒が設計、弘前高等技術専門校の学生が施工を体験したもの）の記録の中から、建物がどのようにできるのか、また建物をつくるためにどのような職人がかかわっているのかを取りまとめた教材。

<対象> 小学校高学年、中学校 <時間> 15分

## 6) 実施経費

項目	摘要	執行額(円)
費用弁償	講師等旅費	80,320
材料費	かなな掛け体験用ヒバ等	99,660
合計	(青森県住宅リフォーム推進協議会負担)	179,980

## 7) 実施校一覧

講師	実施校	実施月日	実施時間	学年	参加生徒数	教科
弘前 技専校	五所川原市立 五所川原第二中学校	10月21日	5・6校時	1～3学年	57名	技術(木材加工)
	つがる市立柏中学校	11月11日	5・6校時	1学年	46名	総合的な学習 技術家庭
	中泊町立小泊中学校	11月25日	5・6校時	1～3学年	36名	技術(木工作品の 制作)
むつ 技専校	八戸市立明治中学校	7月13日	5・6校時	1・2学年	54名	技術(木材加工)
	むつ市立 第三田名部小学校	7月14日	3・4校時	6学年	46名	総合(将来の夢を 探そう)
	七戸町立七戸中学校	10月29日	3・4校時	2学年	63名	総合学習
	八戸市立北稜中学校	12月3日	1～6校時	1学年	71名	総合学習 キャリア教育
合計	7校				373名	

# 八戸市立 明治中学校

実施月日：令和3年7月13日（火）

講師：むつ技専校  
春日主幹、西野主査、佐藤講師

学年：1・2学年

時間：5・6校時

参加生徒数：54名

教科：技術（木材加工）



この授業までは、大工さんなど家を作る仕事あまりわからなかったのですが、この授業で大工さんの仕事がとても大切なものだと分かりました。  
（2学年男子）



すまい職人のDVDを見たり、近くで木を切っているところを見たりして、すまい職人さんはカッコいいなと思いました。女性の方が丁寧だという話を聞いてすまい職人になってみたいなと思いました。  
（1学年女子）

専門的知識・技能のお話を、生徒たちは目を輝かせて見たり聞いたりしていました。また、すまい職人をDVD等で紹介していただくことで、住宅に携わる職人に興味・関心を持つことが出来ました。  
（担当教諭）



ビスを打つのが簡単そうに見えたけれどやってみると意外と力が必要で、バランスをとるのが難しかったです。かんなで削るのも難しかったけれど楽しかったです。道具の名前や使い方などを詳しく知ることができて良かったです。  
（2学年女子）



# むつ市立 第三田名部小学校

実施月日：令和3年7月14日（水）

講師：むつ技専校  
春日主幹、西野主査、佐藤講師  
訓練生4名

学年：6学年

時間：3・4校時

参加生徒数：46名

教科：総合（将来の夢を探そう）



大工は少しもズレないように木と木を合わせるように作っていたのがとても感心しました。僕も将来は大工になりものを作りたいです。  
（6学年男子）



出前授業を受けて、建物を大切に使おうと思いました。小さな建物だとしても、完成までには何日もかかっているし、たくさんの方が協力して作っていると分かりました。（6学年女子）

実際に体験することができて、見たこと触れたことを驚きの言葉や感動の言葉で表現していました。この気づきが職業を意識するきっかけになりました。  
（担当教諭）



私は、将来の夢がなかったのですが、大工の仕事に興味をもち、目指そうと思いました。家が作られるまでに様々な人たちが頑張っていてすごいと思います。三種の神器や大工の神様が聖徳太子ということを知って参考になりました。  
（6学年女子）



# 五所川原市立 五所川原第二中学校

実施月日：令和3年10月21日（木）

講師：弘前技専校  
成田主査、二本柳技師

学年：1～3学年

時間：5・6校時

参加生徒数：57名

教科：技術（木材加工）



木をつなげたとき、1人乗ったらゆがんでいたけれど、それは壊れそうなのではなくなっていることが分かって、こういう工夫がされていてすごかったです。（2学年男子）



インパクトドライバーでビスを打つのは簡単だと思っていたけれど、やってみたらずれたり力加減がとても難しかったです。かな掛けはまっすぐ全体にかな掛けをするのが難しかったです。（1学年男子）

生徒達が、住宅ができるまでの過程を知るとともに、職人という仕事への理解を深め興味関心を高めることにつながったと思います。（担当教諭）



建物をつくるにはたくさんの人が協力し関わっていることが分かりました。かなを使って木を削るのは簡単だと思っていたけど想像以上の難しさで、やっぱり職人さんはすさまじいと思いました。（3学年女子）



# 七戸町立 七戸中学校

実施月日：令和3年10月29日（金）

講師：むつ技専校  
春日主幹、西野主査、佐藤講師  
訓練生10名

学年：2学年

時間：3・4校時

参加生徒数：63名

教科：総合学習



実演が迫力があり、またスピード感が伝わり重い木をあれだけ素早く動かし削るのはすごいと思いました。体験では道具の使用の難しさや作ることの大変さを実感しました。以前より大工の仕事に関心が持てました。（2学年男子）



のこぎりで木材を切るなどの体験では、最初は難しそうだなと思っていたけれど、作業を始めると思ったより簡単でだんだん楽しくなっていました。（2学年男子）

大変良い内容でした。生徒たちの進路選択の幅が広がったと思います。是非毎年1年生の進路学習に実施したいと考えています。  
（担当教諭）



女性の大工さんもすごくかっこいいなと思いました。見ている時は簡単そうだなと思いましたが、やってみるとうまくできなく難しかったです。大工の方の凄さがとても分かりました。（2学年女子）



# つがる市立 柏中学校

実施月日：令和3年11月11日（木）

講師：弘前技専校  
二本柳技師、福士技師

学年：1学年

時間：5・6校時

参加生徒数：46名

教科：総合的な学習  
技術家庭（材料と加工に関する技術）



かんなの刃を研ぐ作業は、やすりによって、研がれたあとの色が違うのが目に見えてはっきり知れたし、力を入れなくても紙を切れることにとっても驚きました。（1学年女子）



クラスのみならずベンチを造って楽しかったです。1回目は上手にできなかったけれど、2回目はネジがしっかり入ったので良かったです。かんなはとても難しく、まっすぐ均等に力を入れなければならぬと実感しました。（1学年女子）

本校では、キャリア教育の指導として1年生で職業調べを行っています。今年度も2学期早々に、将来の職業についての調べ学習を実施したばかりでしたので、今回の出前授業で、改めて技能職について考えることが出来ました。（担当教諭）



実際にかんなで木を削る体験をしてみて、均一に削るのはとても難しかったし、ネジをビスで止めるのは難しかったけどやっていくうちにとても楽しかったです。（1学年男子）





# 中泊町立 小泊中学校

実施月日：令和3年11月25日（木）

講師：弘前技専校  
二本柳技師、福士技師

学年：1～3学年

時間：5・6校時

参加生徒数：36名

教科：技術（木工作品の制作）



住宅づくりにはとても時間をかけて、丁寧に仕上げていると分かりました。職人さんが柱を短時間で仕上げているのと、かな掛けできれいにできていたのがすごいと思いました。それぞれの家に断熱材があると分かりました。家の中のつくりに興味を持って楽しい授業でした。（1学年女子）



DVDや先生の話などを聞いて改めて興味を持ちました。大工さんの道具やその道具の使い方も改めて知りました。中には、昨年見てなかった新しい道具もあって凄いと思いました。（2学年男子）

カンナがけやインパクトドライバーの体験はモノづくりへの関心を高めることができたと思う。技術の木工作業のみならずキャリア教育の一環でもあるため、家づくりに関わる職人の仕事を知る機会として、生徒の関心を高めることができたと思う。（担当教諭）



今年で3回この体験をしてみたけど、やっぱりビス打ちとカンナがけがとても難しかったです。実際にこれを職業としている職人さんたちが本当にすごいと思いました。改めてたくさんの方が学べて良かったし、楽しかったです。（3学年女子）



# 八戸市立 北稜中学校

実施月日：令和3年12月3日（金）

講師：むつ技専校  
春日主幹、西野主査、佐藤講師

学年：1学年

時間：1～6校時（各2校時×3回）

参加生徒数：71名

教科：総合学習、キャリア教育



建物をつくるときにいろんな職人さんたちがそれぞれの役割で一つの建物を作っていることに驚きました。今まで大工さんがずっと建物を作っていたと思っていたので、とても勉強になりました。  
（1学年女子）



木の種類によって利点が違ったり、使用される部分が違ったり、目に見えない部分にも、保温性や災害にも負けない家が作れることを知り、とても楽しかったです。実際に体験してみて、工具の使い方やコツを見つけることができました。  
（1学年女子）

今回の大工という職業に対して体験できたことは大変意義の大きいものでありました。実際の仕事の様子を目の当たりに見たり体験することで、その仕事に対する興味や関心を持つことが出来ました。  
（担当教諭）



かな削りで、びっくりするほどツルツルにしたり、げんうで釘をたくさん打ったところが楽しかった。かな削りでは、一定の強い力をかけて引かなければいけないところが難しかった。（1学年男子）

